

育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

【児童・生徒の教育相談】

- * 相談日・時間
土・日曜日及び祝日を除く毎日
AM9:00～PM5:00
- * 場 所
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）
教育相談センター
電話相談・面接相談 273-5105（直通）
(秘密厳守)

【青少年の生活相談】

- * 相談日・時間
原則として月・水・金曜日とします
AM9:00～PM4:00（要・予約）
- * 場 所
千曲市役所 戸倉庁舎 3階
少年育成センター（生涯学習課内）
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）
(秘密厳守)

今月の家庭の日 9月16日（日）

秋の交通安全週間にあたって、子どもの安全について関心を高め、通学路や地域の危険箇所（ブロック塀も）等の様子を家族一緒に確かめるなどをして、子どもの安全を守りましょう。

メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

E-mail: youth@city.chikuma.lg.jp

相談員がメールでお答えします。

(秘密厳守)

読み聞かせが育む豊かな心

千曲市社会教育委員 小林いせ子

最近、新聞の社会面に、想像もつかない事件が毎日のように掲載されています。これらの事件が起こる背景には様々な要因があると思いますが、目まぐるしく変わる社会の中で本来あるべき親子や家族、友達など周りの人々との間にある人間としての心の豊かさが少しずつ失われつつあるように感じます。

ところで、ここ数年子どもを育てる環境の中で「読み聞かせ」という言葉がよく聞かれるようになりました。幼いころから絵本の読み聞かせを経験した子どもたちは本が好きになる確率が高いと言われますが、もう一方で、この読み聞かせが言葉力や想像力を養うとともに「豊かな心の成長を促す」ことに大きな役割を担う、と理解されたことが大きな理由と思われれます。

読書は本来一人で行うものですが、家庭での読み聞かせは、お父さんやお母さんが読む声を聞きながら子どもたちは絵を見てお話を楽しんでいきます。一見、単純な行為と思いますが、この読み聞かせの時間は、親と子が絵本を仲立ちに、同じ時間を共有し、同じ絵本を楽しみながら、心を通わせるかけがえのないひとときとなります。また、多くの絵本は子どもたちへのエールであふれています。絵本の内容とともにこのかけがえのないひとときの積み重ねこそ、子どもたちの豊かな心を育む土台となり、これから生きていく原動力にもなっていくのです。

千曲市では第2次子ども読書推進計画が進められ、学校・地域・家庭と社会全体で子どもたちの読書を支える取り組みをしています。7か月児へはファーストブックとして絵本がプレゼントされ、昨年度からは小学校1年生へのセカンドブックプレゼントが始まりました。また、地域の読み聞かせ活動にも力を入れ、「読書を通して心豊かに成長する子ども」の育成を目指しています。読書の秋がやってきました。「家読」（うちどく）の言葉もあるように、家族全員で読書！を楽しんでみてはいかがでしょうか。

（JPIC読書アドバイザー）

第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— 小遣いを与える時にはルールもいっしょ —

～育成センターの活動より～

夏場の活動の様子や今後の予定について報告いたします。

1. 7月5日～11日：青少年に有害な社会環境を排除するための「環境チェック活動」を行いました。
2. 7月26日から8月6日（16：30～18：30）：小・中学校が夏休みに入り、学区ごと補導委員とPTA（先生・PTA役員2名）による合同補導を実施しました。
3. 「戸倉上山田温泉夏まつり」「千曲川納涼煙火大会」の当日、補導委員と育成センター職員による夏まつり補導活動を実施しました。屋代夏祭り（一重山不動尊縁日）、千曲夏祭り、屋代ヨイヨイでは、地区補導委員が補導活動を実施しました。各お祭り会場とも子ども達による問題行動は見られませんでした。
4. 上旬は9月4日から、下旬には20日から4時から6時の間で定例の地区巡回補導を実施します。



補導日誌から



整備された公園に響く良い返事

7月19日（木） 5:00pm～7:00

内川公園には中体連を終えた戸上中の3年生男子8名が、バスケットをしていました。その様子に特に問題はなく、「こんにちは」と挨拶すると気持ちの良い返事が返ってきました。公園はきれいに整備され、特に危険箇所等の問題は見うけられませんでした。小船山公園では夕方の涼しくなりかけたなか、保護者同伴幼児2名・小5の2名が遊んでいました。小学生に早目の帰宅を呼びかけると、「ハイ」と元気で明るい返事が返ってきました。よく整備された環境で、特に問題はありません。

お仕事とはいえ、ありがたいことです

7月20日（金） 5:00pm～7:00

屋代駅の駐輪場では、外に自転車が8台置いてありました。交番の話では電車の時間ギリギリの人が置いていくとのこと。科野の里ふれあい公園の噴水で、3人の子どもがずぶぬれで遊んでいました。その他、20名ぐらいが遊具で遊んでいました。公園のコンクリートの上にクッションマットをはっている職人さんがいました。「子ども達のためにありがとうございます」と声をかけました。こういう人がいて安全に遊べるんだなあとあらためて感じました。

PTAとの合同補導（壇生小学校区）

7月26日（木） 4:30pm～6:30

杭瀬下公園では、小2の男子2人が遊んでいました。1人が帽子を被っていませんでしたので、熱中症予防のため、帽子の着用と水分補給に気を配るよう声かけをしました。中1男子が自宅前路上で、他地区から来たというこの小学生とサッカーをしていました。交通事故に遭わないようにと声をかけました。更埴中央公園に回ると、遊具の上に中2男子が2名いました。声をかけると「昨日・今日・明日の3日間職場体験の日です」との答え。自動車整備工場を選んだというので体験の感想を聞くと、「たいへんだ」と一言。現実社会の厳しさを垣間見た様子が感じられました。今後の成長を祈りつつエールを送って別れました。

PTAとの合同補導（屋代小学校区）

7月27日（金） 4:30pm～6:30

千曲衛生センター・科野の里ふれあい公園の両公園とも猛暑に加えて雨が降らないため、芝が白く変

色し枯れる寸前でした。衛生センターには、公園のすみにシートに雨ガサを日よけにして男女2人の子どもがいました。小6（男）小2（女）で兄妹とのこと。家にいるより風があり、気分が良いそうです。楽しくくつろいでいる様に感じました。国道の横断地下歩道、階段通路共にきれいに掃除がされていました。角にカーブミラーが付けられていて、見通しが良くなっています。ただ、通行者がほとんどなく、不審者がいたらこわいという話しができました。一人通行と夜間通行は心配です。

PTAとの合同補導（治田小学校区）

7月30日（月） 4:30pm~6:30

稲荷山公園は子ども達の姿はありませんでした。公園内の花壇では、水当番の人が暑い中一人で花に水を散布していました。50分くらいかかるとのことでした。暑い中、ご苦勞様ですと声をかけました。顔は、汗だくでした。ねむの木公園に着くと、高齢の男性が如雨露^{じょうろ}を片手に持って帰っていくところでした。花壇の土が濡れていました。両公園内がきれいで、一緒に回った皆さんも感心していました。

PTAとの合同補導（上山田小学校区）

7月31日（火） 4:30pm~6:30

上山田児童館のこの時間帯は中学生が来ることがあるそうで、今日も2人いました。上山田地区以外の子供達も来ることが多くなったそうです。涼しいこと、運動ができることが、子供達にとってありがたいようです。今日の2人はバドミントンをしていました。

PTAとの合同補導（東小学校区）

8月 1日（水） 4:30pm~6:30

暑い日でした。科野の里ふれあい公園は、普段より人は少なく親子が噴水遊びをしていました。小学生は遊んでいませんでした。この暑さでしょうか、他の公園でも遊んでいる小学生はいませんでした。倉科の石杭池近くの道路では歩いて友達の家へ向かう小学生がいましたが、右側をきちんと歩いていました。

PTAとの合同補導（戸倉上山田中学校区）

8月 3日（金） 4:30pm~6:30

戸倉創造館には学習中の中高生が数名おり、図書館では大人や子ども15人くらいが静かに読書をしていました。避暑も兼ねて利用者も少し多くなっているが、問題は何もないとの話でした。内川公園では、中学生2人がバスケット、他高校生数人でバスケット中。あいさつも会話も素直そうでした。小船山公園でも、高校生がバスケットをしていました。園内及びトイレもきれいで問題はありませんでした。同行した先生の話では、今の中学生は群れないで家にいる子が多く、真面目になっているとのことです。

編集室の窓

心に刻まれる両親の姿…行動こそ

高原とはいえ強烈な太陽の光がじりじりと身を焦がす、そんな高原のユリ園でした。熱中症でしょうか、斜面に男性のお年寄りが横たわっていました。連れの女性は声をかけるのが精一杯、男性を移動させる力はありません。近くにいた御夫婦が肩を貸してあげて近くのベンチへ移動させました。意識もあり一息ついていよう、一件落着と思えました。ところが、先の御夫婦が肩を貸して下へ降りるといった状況になったよう、下へ向かい始めたのです。ベンチまでは大分離れていたのですが、「女の人かわいそうでしょ、お父さん」の一言。その一言が背中を押しました。現場に駆け寄り女性と交代、肩を貸して階段を下り始めました。ところが男性の足に力が入りません。肩を貸している男性は背の高いがっちりした方でした。下まで抱えていけるか自信はありませんでしたが、そこにタンカがあるわけでもなく・・・「抱えましょう」と提案しました。抱えてみると脱力した成人男性は実に重いものです。かといって途中で下ろすなどもってのほか、全身全霊頑張って下まで降ろしました。そこにいたスタッフに状況を話し、後を託しました。

最初に声をかけた御夫婦には、10歳くらいの女の子がいました。父、母の立ち居振る舞いをすべて見ていました。困っている人には手を差し伸べる頼もしい両親、自慢のお父さん・自慢のお母さんになりました。

子ども達が、粘り強く意欲的に取り組んでいくためには、夢や目標をもち、その達成に向けて取り組むことが何よりも大切です。今の子ども達には夢がない、と言われていました。そんな子ども達が、どんな夢をもち、どのように立ち向かっていこうとしているかを紹介します。

将来について

3年 西村 萌樹

僕は過去に、千曲市誕生 10 周年記念式典で「もし市長になったら」という題で、作文を読ませて頂いた経験があります。その時は「市長さんになるよりも、将来は物理学者になりたい。」なんて言っていました。しかし、中3の現在、それに替わっての具体的な将来の夢についてはまだ決まっていません。

そこで、自分のやりたい事や好きな事を仕事として、将来できるようにする為に、まずは目の前に迫る高校受験を全力で頑張りたいと思います。

そして、昔の夢であった物理学者以上になりたいもの、自分が本当に目指していきたい「夢」を見つけたいです。

将来について

3年 宮崎 成摩

僕の将来の夢は、鉄道関係の仕事に就くことです。僕は小さい頃から鉄道が好きで、そういう関係の仕事に就けたらいいな、と今でも思っています。しかし、ただ好きとか興味がある、というだけで勤まる程、そんなに簡単な仕事ではありません。

将来の夢を叶えるためにも、今から勉強にもっと力を入れて、まずは安定した進路を掴めるように努力していきたいと思っています。

私の夢

3年 武田 成未

私の将来の夢は、小児科医師になり、沢山の苦しんでいる子供達を救うことです。

私は、小さい頃は体が弱く、入院したこともよくありました。その中で、多くのお医者さんにお世話になりました。次は私の番です。今から勉強を続け、進路についても目指している高校に進学し、夢に向かって一步一步近づいていきたいです。

そして、人のために全力を尽くせる人間になりたいです。

私の夢

3年 田中 陽菜

私の将来の夢は、小学校の教師になることです。なぜなりたいかというと、小学生の時、先生方がいつも楽しそうに子供達に勉強を教えたり、一緒に遊んだりしている姿を見て、「私も将来は、あんな風になってみたい。」と思ったからです。

その夢を叶える為に、今は毎日必死に受験勉強を続けています。必ず、志望している高校に合格し、そこでも今以上に努力を続けていきたいです。そして、大学、その先へと、自分で決めた道を、自らの足で夢に向かって歩んでいきたいです。